

■□ 2021年 年頭のご挨拶 □■



(一社) 情報通信設備協会 東海地方本部
本部長 井上新一

皆さん、明けましておめでとうございます。
謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
旧年中は、当協会の事業運営にご理解とご協力を賜り誠に有難う御座いました。
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は、1月にWHOが新型コロナウイルスを確認し、2月には横浜に入港した「ダイヤモンド・プリンセス号」の乗客に感染者が確認されました。その後、東京オリンピック、パラリンピックの開催延期、緊急事態宣言、都道府県をまたぐ移動の自粛要請、と続き一旦はおさまったかに思われましたが、11月ごろからの寒さに伴い再び感染拡大が始まり、現在に至っています。12月に入ると有効なワクチン開発・承認され、海外では人への接種が始まりました。新たな生活習慣が定着しマスクをしない外出があり得ない状況となっていますが、早期にこのコロナ禍が収束し東京オリンピック、パラリンピックが無事に開催される事を祈念しております。

毎年、この年頭のご挨拶を書くに当たって明るい話題を列挙できない事が寂しく思われますが、今年の干支、辛丑（かのと・うし）年ほどの様な年となるのでしょうか。「辛」と「丑」は相手の力を生かし強め合う関係との事です。緩やかな衰退、痛みを伴う幕引きと、新たな命の息吹が互いを生かし合い、強め合うことを意味し、辛いことが多いだけ、大きな希望が芽生える年になることを指し示している様です。この様な干支の年である事からコロナ禍が収束し、希望があふれる年となる事を祈りたいと思います。

通信業界の動向としては、いよいよ5G時代の幕開けとなるのではないのでしょうか。5Gの特徴は高速・大容量、低遅延、多数接続が挙げられます。また、この5Gの通信環境を、企業や自治体が「自営網」で構築し、IoTやスマートファクトリーで活用するローカル5Gという利用形態が可能になります。

5G時代はデバイス、コンテンツ、料金体系が変わり、通信は益々高度化し、自営の通信設備が増加します。通信は産業・社会のインフラとしての重要性が益々高まります。通信業界としては新たなビジネスチャンスととらえ業容拡大に結びつけるため、積極的な取り組みが重要かと思われます。

働き方改革、技術者の育成、外国人材の登用、アフターコロナの業務形態など、身近な課題として捕らえると共に、技術革新への素早い適応が出来なければ、通信業界が他の業界へ吸収されてしまう事にもなりかねません。

会員企業が継続的に発展し、今後益々熾烈になる競争を乗り越え、Win-Winの関係を顧客と築き、成長していく事が重要かと思ひます。

協会も公益目的事業の足かせが外れ、新たな事業の計画、実施が可能となります。より会員の皆様の役にたつ実践的な事業を展開してまいります。

皆さんと手を取り合い考動・共生し魅力ある協会にして行く事で社会に貢献することを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。